



子育て支援者の コンピテンシーリスト

Ver.1 要素編

子育て支援者コンピテンシー研究会

子育て支援者は支援のために一体何を身につければよいか？

子育て支援者の コンピテンシーリスト Ver.1 要素編

【コンピテンシー (competency): 力量。ある目的を的確・適切に達成するときに必要な能力や技量】

子育て支援者のコンピテンシーリスト項目

I

現場の一員として活動する者のコンピテンシー

[態度]

- A 学びに対する姿勢
- B 相手の尊重
- C 自己理解
- D ふるまい
- E センス

[技術]

- J アセスメント・介入・評価
- K 子どもへの直接支援
- L 大人への直接支援
- M 場を作る力
- N コミュニケーション
- O 教育

[知識]

- F 生活
- G 子ども
- H 家族
- I 支援

II

組織のリーダーとしての活動に関わるコンピテンシー

- P コミュニティワーク
- Q マネジメント

このリストは、主に乳幼児期を対象として親子と直接関わる子育て支援において、子育て支援者がもつ態度・知識・技術を要素として抽出し、一覧表としたものです。ここにリストアップされた項目は、主に居場所・交流型支援の子育て支援者と利用者を対象とした調査・分析に基づいて抽出し、その要素を一つ一つ検討して精選しました。要素を抽出するために行った研究は以下の4種類です。

- ① 子育て支援者として親からの評価が高い6人の専門家へのヒアリング
- ② 子育て支援の場の利用者(親)を対象とした、支援者への要望に関するアンケート
- ③ 元々は利用者であった支援者による「態度・知識・技術」に関するワークショップ
- ④ 子育て支援の専門家の著作から抜き出した支援者に必要な態度・知識・技術の記述

子育て支援者は、

- ① 現場の一員として活動できる〔マイクロレベルの支援ができ〕、
- ② 組織のリーダーとして活動できる〔メゾ・マクロレベルの支援ができる〕
- ③ ①と②を兼ね備えている

という3つのタイプの支援者に分けられますが、このリストでは主に①に重きをおいています。この研究により、直接親子と接する支援者には、子育て支援の分野に固有のコンピテンシーがあることが明らかとなりました。

このリストは、今後次のような活用が考えられます。

- ① 支援に携わる者の自覚と自己研鑽を促す自己チェックリストや研修の材料として用いる
- ② コンピテンシーが身につく形での養成・研修を行う
- ③ 支援者の採用や待遇の目安を示す

コンピテンシーのリストは、支援者がこれら全てを兼ね備えている必要がある、ということを示しているものではありません。支援者に求められるコンピテンシーは、支援者の立場・役割や資質、活動の場の特徴、スタッフ構成などによって、異なってくると考えられます。実践現場では、完璧な支援者が一人だけいるよりも、多様な支援者の組み合わせによって有機的なコミュニティが形成されている方が、現実的であり、また大切なのではないのでしょうか。

このリストは、様々な使い方の可能性を持っています。今後は、立場や役割による項目の「重みづけ」をしていくことが必要だと考えています。

[態度]

A 学びに対する姿勢

- 実践の中で学ぶ姿勢がある
- 触れあう人々から学ぼうとしている
- 学びの場を自分で作ることができる
- 知識を実践と結びつけることができる
- 活動の後に、客観的に活動分析ができる

B 相手の尊重

- 誰に対しても尊厳を大切にできる
- 相手の主体性を尊重できる
- 弱さや未熟さを愛せる
- 失敗や試行錯誤を受け入れられる
- 多様性を受け入れられる
- 相手のわずかな変化や成長を喜び、共感し、慈しむことができる
- 他人の幸福を喜べる

C 自己理解

- 自分の特徴・特性を知っている
- 自分の可能性と限界を知っている
- 他人からどのように見られやすいか知っている
- 自分の価値観を客観視できる
- 自分らしさを大切にできる
- 自分の過ち・失敗から気づきを得ることができる
- 弱さも含めて自分を肯定的に見ることができる

D ふるまい

- 自分の特徴・特性を知っている
- 自分の可能性と限界を知っている
- 他人からどのように見られやすいか知っている
- 自分の価値観を客観視できる
- 自分らしさを大切にできる
- 自分の過ち・失敗から気づきを得ることができる
- 弱さも含めて自分を肯定的に見ることができる

E センス

- 常識をわきまえている
- ほどよさを好む
- 五感のセンサーが働く
- 日常生活を大切に考えられる
- 厳しすぎる規則にしばられていない
- 身ざれいいにしている
- 感情表現が豊かである

[知識]

F 生活

現代の家庭の状況を知っている

地域の生活環境を知っている

親が得ている育児情報を知っている

家事・育児のコツを知っている

G 子ども

器質や生理に関する知識を持っている

発達に関する知識を持っている

障がいに関する知識を持っている

病気や事故に関する知識を持っている

H 家族

- 親の発達に関する知識を持っている
- 現代の親世代の状況と課題を知っている
- 現代の祖父母世代の状況と課題を知っている
- 家族のライフサイクルに関する知識を持っている

I 支援

- 保健に関する知識を持っている
- 保育に関する知識を持っている
- 療育に関する知識を持っている
- 福祉と関連法規に関する知識を持っている
- エコロジカルな視点を持っている
- 地域資源を知っている
- 教育に関する知識を持っている
- 生涯発達の視点を持っている

[技術]

J アセスメント・介入・評価

- 問題を抱える親子を発見することができる
- 親子の周囲の関係とシステムを全体としてとらえて考えることができる
- 親子の状態を把握し、支援の見通しをもつことができる
- 自分が対応できる親子かどうかの判断ができる
- 適切な助言をタイミングを見計らって伝えられる
- 相手に過度な要求をしない
- 健全な部分に働きかけることができる
- 生活全体を長期的な視野で支援することができる
- 秘密を保持できる
- 守秘の範囲で、支援に必要な報告や情報の共有ができる
- 介入の適切さを振り返っている

K 子どもへの直接支援

- 子どもと一緒にいることを心地よく思える
- 子どもとつきあうことを面倒くさがない
- 具体的な子どものケアができる
- 子どもと遊ぶことができる
- 子どもの発達支援ができる
- 子どもの存在を丸ごと受け止めることができる
- 子どもの発するわずかなサインを読み取ることができる

L 大人への直接支援

大人と一緒にいることを心地よく思える

世間話ができる

気軽に話しかけられる雰囲気をかもし出せる

温かく見守ることができる

過不足なく相談に乗れる

何気ない会話の中で、適切なアドバイスができる

必要な資源につなげることができる

子どもが必要としているときに代弁できる

M 場を作る力

場の全体に対して気を配ることができる

場を観察して、把握することができる

人と人をつなぐことができる

親と子の関係をその場で作ることができる

人と人の関係性が生まれる仕掛けを作れる

役割分担をすることができる

安心感を与えるふるまいができる

その場の状況に合わせた環境設定ができる

[技術]

N コミュニケーション

- 人に主体的に働きかけることができる
- どんな態度の相手に対しても働きかけることができる
- 人をほめることができる
- 相手の非言語表現を読み取ることができる
- 相手のテンポに合わせられる
- 適切な距離感で人と接することができる
- 相手の話を肯定的関心を持って傾聴できる
- 一方的で余計な口出しをしないでいられる
- 否定的ないい方をしない
- 他人の気持ちを想像し共感的な対応をとることができる
- 新しいメンバーが入りやすい雰囲気を作れる
- 自分以外の人を引き立てることができる
- 対等な人、上の立場の人に適切に自分の意見が言える
- 下の立場の人に圧迫感を与えないで接することができる
- 対立が生じて、回復を試みることができる

O 教育

- 必要なことを子どもに適切に伝えることができる
- 必要なことを大人の利用者に適切に伝えることができる
- 必要なことをスタッフ間で適切に伝えることができる
- 課題を解決する手段や方法を具体的に示すことができる
- 適切なタイミングで、適切な介入をすることができる
- 専門的なことを、相手をこわばらせずに伝えられる
- 専門的なことをわかりやすく丁寧に伝えられる
- 関わりのモデルをさりげなく行動で示すことができる
- ポジティブなフィードバックができる

P コミュニティワーク

地域の資源と連携をとることができる

地域の資源と協働することができる

地域の適切な資源を知っており、リファーできる

自分の組織の地域における役割を理解することができる

Q マネジメント

目的をメンバーと共有している

目的と整合性をもって事業を展開できる

目的と整合する環境（ハード）をつくれる

運営を継続することができる

起きたことの問題を取り戻すことができる

後出のスタッフを見守り、育てることができる

メンバーを全体として受容することができる

メンバーをエンパワーすることができる

コンピテンシーリストには、リスト項目を支援の実践の場における具体的な行動で整理したVer. 2 (直接支援者向け)、基本的な項目を整理したVer. 3 (ひろばスタッフ基礎編) があります。より深い学習を、Ver. 3、Ver. 2の順に進めていただきたいと思っています。



子育て支援者の コンピテンシーリスト

Ver. 1 要素編

発行 2005年7月9日
発行所 子育て支援者コンピテンシー研究会

- ・本研究は(財)こども未来財団委託による平成16年度児童関連サービス調査研究等事業『地域子育て支援における支援者のコンピテンシーに関する研究』(峯村芳樹・武田信子・汐見和恵・高山静子・今井豊彦)をもとにまとめたものです。
- ・本リストの改変はご遠慮ください。
- ・本コンピテンシーリストの配布・無断転載はご遠慮ください。
- リストを活用される場合は、下記まで事前にご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

子育て支援者コンピテンシー研究会 事務局 今井豊彦

E-mail hikotoyo101@yahoo.co.jp

Fax 03-5680-4001

